

GIS Day in 中国 2025

12月10日(水) <<朝9:30受付開始>>

広島大学・東広島キャンパス

URL : <https://home.hiroshima-u.ac.jp/ttanaka/gisday2025.htm>



「GIS Day」とは、GIS(地理情報システム)の理解と利用促進、地域のGISコミュニティの創出・拡大を目的として、米国で開始された世界的な草の根運動です。中国地方では、2013年より、広島大学で開催しており、本年度で13回目となります。

なお、この「GIS Day in 中国」は、GIS資格認定協会のGIS教育認定を受けており、受講者には所定の教育時間を受けた証明となる「受講証明書」を発行する予定です。

会場：広島大学（場所は裏面参照）

（第1部）情報メディア教育研究センター本館2F 端末室

（第2部）ミライクリエ1階 多目的ホール

参加費：無料・事前登録制（定員 80名）

参加申込方法

以下の項目をご記入の上、E-mailにて、事務局(gisday.chugoku@gmail.com)宛にお申し込みください。

■件名：「GIS Day参加申込」

■お名前・フリガナ

■ご所属（会社／団体名・部署）

■ご連絡先メールアドレス

■ご連絡先電話番号

■GIS 体験講習：参加の有無

■懇親会：参加の有無

プログラム

9:30	受付開始（午前の部：GIS体験講習）
10:00- 12:00	GIS体験講習「ArcGIS Pro（定員 40名）」 ※定員になり次第、申込を締め切らせていただきます。
13:00	受付開始（午後の部：講演会）
13:30- 13:35	主催者挨拶 田中 貴宏（広島大学 大学院先進理工系科学研究科）
13:35- 14:15	講演「GISと衛星リモートセンシングの関係および衛星リモートセンシングの防災利用への最前線」 三浦 房紀（山口大学 名誉教授、合同会社DMA）
14:15- 14:30	各大学ポスター紹介
14:30- 15:15	（休憩）・・・企業展示、ポスター見学
15:15- 15:45	事例紹介①「山口県における衛星データおよびGISを活用した産業支援」 藤本 正克（地方独立行政法人 山口県産業技術センター）
15:45- 16:15	事例紹介②「ArcGIS活用事例のご紹介」 権藤 浩史（ESRIジャパン株式会社）
16:15- 16:45	学生報告①「滞留空間の特性と滞留行動の関係に関する研究」 山澤 光晴（福山市立大学） 学生報告②「江戸時代の人工開削後に形成されたハチの干潟周辺の地形計測調査」 鶴木 勇輔、原西 純太、森 渉（広島大学）
16:45- 17:00	閉会挨拶
17:30- 19:00	懇親会（会費：2,000円） 会場：ミライクリエ1階 多目的ホール（場所は裏面参照）

企業展示（13:00～）（於：ミライクリエ1階 多目的ホール）

（株）ジェクト、中電技術コンサルタント(株)、(株)ニュージャパンレッジ、(株)パスコ、復建調査設計(株)
国土交通省国土地理院中国地方測量部（特別展示）（予定）

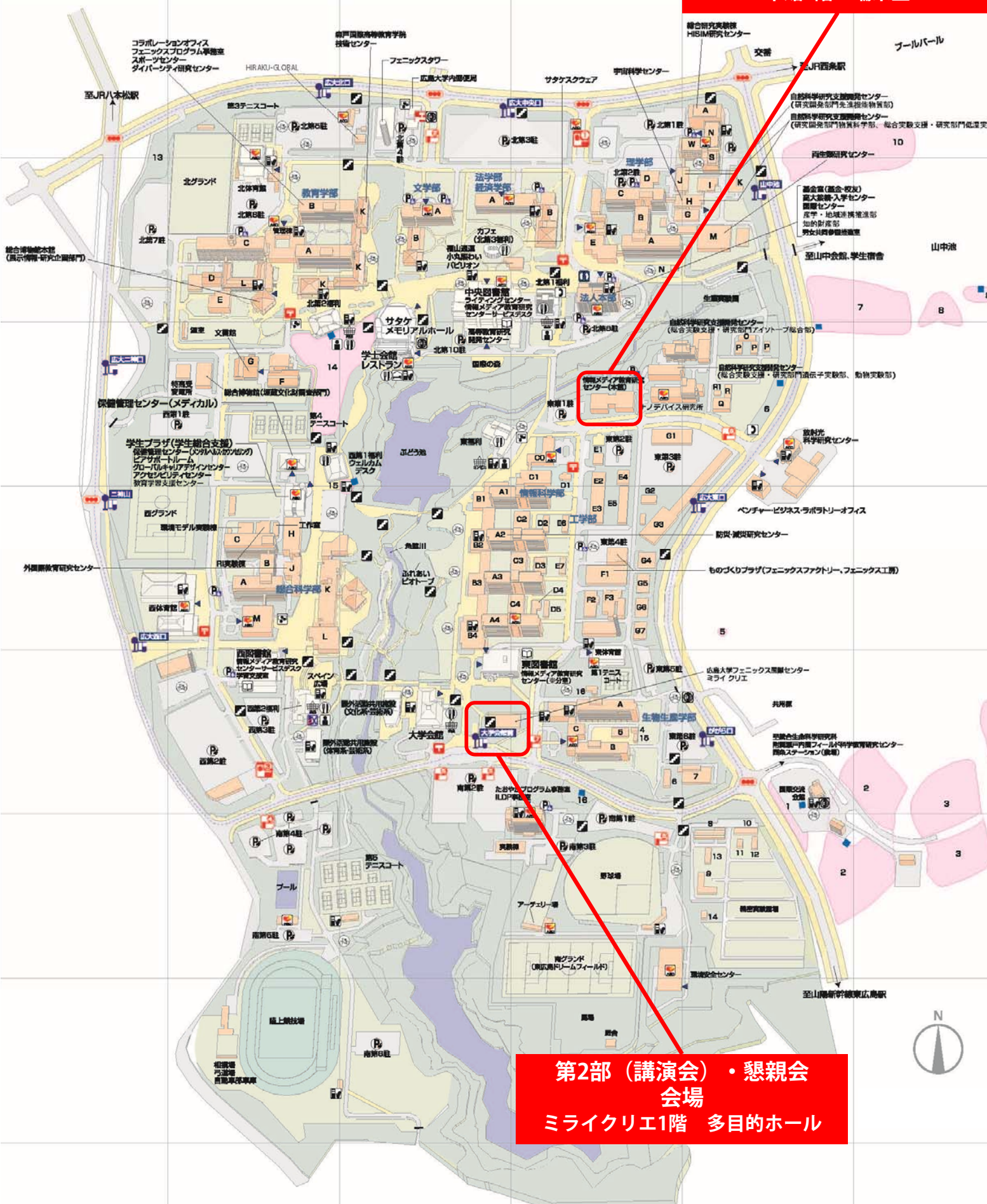
- 主催：「GIS Day in 中国 2025」実行委員会（広島大学大学院先進理工系科学研究科 都市・建築計画学研究室内）
- 共催(予定)：広島大学 情報メディア教育研究センター、広島大学 防災・減災研究センター、
広島大学 Town & Gown 未来イノベーション研究所 (TGIF)
- 後援(予定)：地理情報システム学会中国支部、日本建築学会中国支部、日本地図学会、日本地理学会、日本地図センター、
日本都市計画学会中国四国支部、熊野町、東広島市
- 協賛(予定)：ESRIジャパン(株)、(株)エネコム、(株)ジェクト、中電技術コンサルタント(株)、(株)ニュージャパンレッジ、
(株)パスコ、復建調査設計株式会社

キャンパス内
全面禁煙

会場マップ

広島大学・東広島キャンパス

第1部 (GIS体験講習) 会場
情報メディア教育研究センター
本館2階 端末室



第2部 (講演会)・懇親会
会場
ミライクリエ1階 多目的ホール